



武藏野ふるさと歴史館 戦争資料展示 Vol.5

# 戦争と武藏野V

令和元年 8月3日土—17日土

会場 武藏野ふるさと歴史館 2階 会議室（午前9時30分～午後5時 金曜・祝日閉館）

※武藏野ふるさと歴史館にはエレベーター等の昇降設備はありません。あらかじめご了承ください。

武藏野市立 武藏野ふるさと歴史館

# 戦争と武蔵野V

## 中島飛行機の武蔵野進出と戦時下の武蔵野町

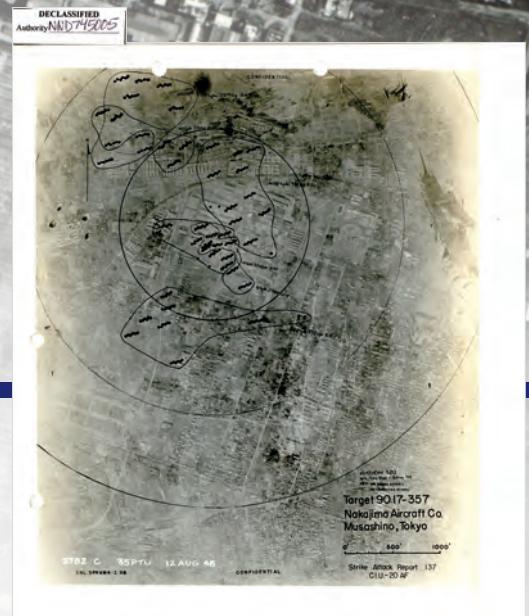
日中戦争の拡大により航空機の需要が高まった。中島飛行機では陸軍の増産要請に応じて、武蔵野町西久保に武蔵野製作所を開設した。後に多摩製作所も開設され、両者を統合し武蔵製作所となった。武蔵野町の人口も増加し、中島飛行機と関連する企業へ通勤者も増えていった。一方で長期化する戦争は物資の不足など武蔵野町の人々の生活にも影響を与えていた。

## 武蔵野と空襲

昭和16(1941)年12月8日に太平洋戦争の開戦を迎えた。翌年6月のミッドウェー海戦の敗北を受け、形勢は徐々に日本側の不利となった。昭和19(1944)年8月のアメリカ軍のマリアナ諸島攻略により日本本土はB29の直接攻撃範囲に入ることになった。同年11月24日の東京空襲では武蔵製作所が目標の一つとして攻撃を受けた。

## 最後の空襲

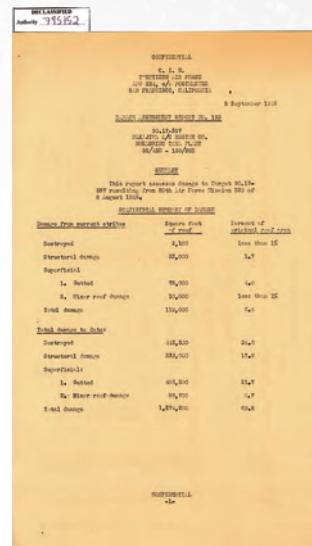
昭和20(1945)年8月8日、中島飛行機武蔵製作所は9回目の空襲をうけた。これまでのアメリカ軍の分析で製作所西側は比較的の損傷が軽微であると評価されていた。アメリカ軍は西工場の破壊を最優先に考え、その日51機のB29が武蔵野上空に侵入した。8月15日の終戦を迎える1週間前のことであった。



着弾点を示した図

18-NM6-7A-4397-3

昭和20(1945)年8月8日の「作戦任務報告書」に添付されていた図。製作所内にも多くは着弾しているものの、北側の保谷町(現・西東京市)や南側の五日市街道沿いにも複数着弾していることがわかる。



昭和20(1945)年8月8日空襲の「損害評価報告書」

341-MM15-217-802-9



### 長距離飛行計画

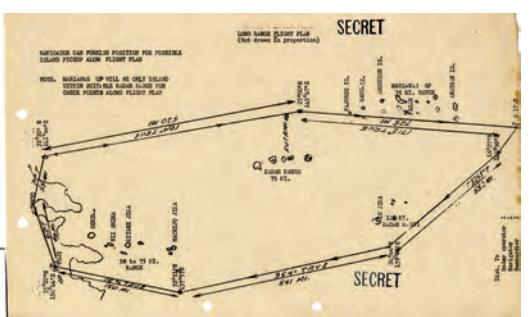
18-NM6-7A-3173-8

サイパン島の基地から東京を往復する航路を記載した計画図。伊豆諸島や小笠原諸島などの記載も見られる。

### 作戦任務報告書

18-NM6-7A-4397-3

左の文書は、写真等を用いて平均着弾点を記したもの。中島飛行機武蔵製作所の平均着弾点は西工場の中心に示されている。



画像：米国国立公文書館原蔵



## 武蔵野市立 武蔵野ふるさと歴史館

開館時間 午前9時30分～午後5時 休館日 金曜・祝日・年末年始

〒180-0022 武蔵野市境5-15-5 Tel 0422-53-1811

E-mail: [rekishikan@city.musashino.lg.jp](mailto:rekishikan@city.musashino.lg.jp)

入場無料

武蔵境駅より徒歩12分／ムーバス「武蔵野ふるさと歴史館」バス停下車すぐ／駐車スペースはございません（高齢者・車椅子ご利用の方はご相談ください）

